

Annual Report 2020

活動報告書

2020.4-2021.3





音楽を通して生きる力を育む

一般社団法人エル・システマジャパンは、東日本大震災の後20年、30年と続く被災地の復興の中で長期的に子どもたちを支えたいという思いから、福島県相馬市で最初の活動を開始しました。設立以来、子どもたちが誇りと自信を持ち、他者とのコミュニケーションを学び、積極的に自己実現を図る力を持つことを目指し、被災地に限らず活動を続けています。

オーケストラやコーラスなどの仲間と行う音楽活動に、希望する子どもなら誰でも参加できる環境を整え、音楽を通して多様な年齢、文化や国籍の友人と交流する機会をつくっています。子どもたちは活動の中で、お互いの違いを認め合いながら仲間同士で教え合い助け合って目標を達成することを経験し、成長していきます。私たちは、子どもたちが自然災害や貧困、障害等どんな境遇にあっても自身と周りの社会環境に誇りと自信を持ち、希望を持って人生を歩んでいくことを願っています。さらに、生き生きと音楽に打ち込む子どもたちを中心として、周囲の大人たちや地域社会が活性化していくことを目指しています。

Annual Report 2020

活動報告書 2020.4-2021.3

- 01 ごあいさつ
- 02 2020年度の活動状況
- 04 相馬子どもオーケストラ&コーラス
- 06 大槌子どもオーケストラ
- 08 駒ヶ根子どもオーケストラ
- 10 東京ホワイトハンドコーラス
- 12 世界子ども音楽祭2021 in東京
- 14 広報活動
- 16 ご協力のお願い
- 18 会計のご報告
- 20 ご協力・ご支援をいただいた皆様

※学年・年齢の表記は当時のものです
※マスクを外している写真は、撮影にあたり一時的に外しています。

エル・システマジャパンの活動への日頃からの応援に、心より感謝申し上げます。

コロナ禍で始まり終わった2020年度。国内4拠点の活動も、程度の差はあれ、大きな影響を受けました。オンラインでのクラスが普通となり、何気ない休憩時間での仲間とおしゃべりができなくなり、楽しみにしていたイベントや発表の場にも様々な制約が課せられました。

しかし、この試練は新たなチャンスと可能性を与えてくれたとも言えるのではないのでしょうか。3年越しで準備していた『世界子ども音楽祭2021 in 東京』は、当初と大幅に内容、形式を変えることにはなりましたが、万全の感染症対策のもと、バーチャルとリアルを組み合わせることで、国内外の仲間と支援者を繋い

だ新しい企画として実現できました。オンラインの時間も、これまでの集団での教室では見落とされていた個々のニーズを掘り取る機会だったとも言えます。そして、子どもたちが、これまで以上に、仲間と共に音楽に向き合うことの意義を感じ取ってくれ、勇気を持って各々の人生を切り開いていってくれるように成長したと実感しています。

応援し続けてきてくれた全ての支援者や関係者にお礼を伝えたいです。子どもたちを励まし続けてくれた保護者。可能性を信じて、オンラインでもリアルでも熱い指導をしてきてくれた先生方。エル・システマジャパンの全てのスタッフ、インターン、ボランティア。そして、もちろん、音楽を楽しみたいと仲間と一緒に前に進む勇気を持ち続けた子どもたち。みなさん、本

当に本当にありがとうございました。
引き続き、温かい応援をいただければ幸いです。



およびエイズ分野を担当。07年より日本ユニセフ協会にて勤務。11年3月より東日本大震災緊急支援本部チーフコーディネーターとして支援活動を指揮。12年3月に一般社団法人エル・システマジャパンを設立、代表理事に就任。

エル・システマジャパン 代表理事
菊川 稔

【菊川稔 略歴】
1971年神戸生まれ。95年ロンドン大学ユニバーシティカレッジ卒業。96年同大学教育研究所政策研究修士課程終了。その後、98年よりユネスコ 南アフリカ事務所にて教育担当官。2000年よりユニセフ レソト、エリトリア事務所において、青少年、子ども保護、

南米ベネズエラで始まった 社会変革を目指した音楽教育 「エル・システマ」

1975年に始まった活動は、シモン・ボリバル音楽財団によって展開され、現在、約100万人の子どもたちがベネズエラ国内の約300のオーケストラ&コーラスに参加しています。その理念に共感した活動は、世界70ヶ国以上の国、地域に広がり、それぞれ、地域の特性や社会環境に応じて独自に発展し、展開されています。



2020年度の活動状況

少子化の影響で部活に参加する子どもたちも減っており、特に地方部ではその影響が顕著です。エル・システマジャパンは、地域に開かれた音楽活動を行うだけでなく、学校への支援も行うことで、より多くの子どもたちが芸術や音楽にふれる機会をつくっています。また、障害のある子どもたちが、自分らしさを大切にした表現による音楽活動も行っています。

エル・システマジャパンは、3つの支援策を柱に、各地やグループの状況に応じた支援を行っています。

- 1 直接的な支援（子どもオーケストラ、子どもコーラス、作曲教室）
- 2 学校を通じた支援（部活動支援、音楽事業支援、専門家の派遣）
- 3 総合的な支援（楽器の購入・修繕）

学校での支援などを含めて、エル・システマジャパンが支援した子どもたち

約2,300人

相馬子ども オーケストラ＆コーラス

協力協定：福島県相馬市



©FESJ/2020 Yasukata Eida

週末音楽教室
参加者数(2021年3月現在)

	オーケストラ	コーラス
小学生	27名	3名
中学生	17名	15名
高校生	15名	5名
合計	59名	23名

日々の活動

管楽器教室、弦楽器教室(初級)、弦楽器教室(中上級)、弦楽器自主練習会、コーラス教室を 各週1回

学校への部活動支援として、バイオリンの出張指導を 週2回

学校への支援

相馬市内小学校：9校

練習場所

相馬市民会館など：5か所

支援人数(学校への支援を含む)

約2,000名

大槌子どもオーケストラ

協力協定：岩手県大槌町



©FESJ/2020 Takaaki Dai

週末音楽教室
参加者数(2021年3月現在)

	オーケストラ
小学生	20名
中学生	3名
高校生	2名
大人	5名
合計	30名

日々の活動

弦楽器教室を 週5回

学校への支援＋部活動支援

町内の小・中一貫校：2校

練習場所

町内の子ども向け施設など4か所

支援人数(学校への支援を含む)

約50名

駒ヶ根子どもオーケストラ

協力協定：長野県駒ヶ根市



©FESJ/2020

週末音楽教室
参加者数(2021年3月現在)

	オーケストラ
小学生	69名
中学生	14名
合計	83名

日々の活動

グループレッスンと弦楽器教室を 各週1回

練習場所

駒ヶ根市民文化会館など3か所

支援人数(イベントでの楽器体験(参加者などを含む))

約250名

参加者	83名
楽器体験	50名
子ども音楽祭	100名

東京ホワイトハンドコーラス

共催：東京芸術劇場
協力：社会福祉法人トット基金



©FESJ/2021 Mariko Tagashira

週末音楽教室
参加者数(2021年5月現在)

	サイン隊	声隊
小学生	9名	16名
中学生	1名	3名
高校生	1名	
合計	11名	19名

日々の活動

声隊は週1回の練習
サイン隊はワークショップを開催

練習場所

東京芸術劇場

支援人数

30名



©FESJ2020YasukataEida

相馬子どもオーケストラ＆コーラス



相馬子どもオーケストラ＆コーラスでは、本年度よりオーケストラの音楽監督に木許裕介先生をお迎えしました。子どもたちは、日々の練習もままならない状況の中でも諦めず、相馬での音楽祭の開催と、東京の音楽祭への出演を叶えることができました。

1年越しで2020年12月に開催となった『第6回子ども音楽祭 in 相馬』。弦楽器メンバーは弦楽合奏に集中的に取り組み、モーツァルトの「ディヴェルティメントK.136」やバッハの「ブランデンブルク協奏曲No.3」から、現在も活躍する作曲家ラターの弦楽曲など幅広いレパートリーを弾きこなし、この1年の新たな成長を感じさせてくれました。管楽器教室に通うメンバーは、

パートアンサンブルのほか初めてパートを越えて管楽合奏に挑み、シュトラウスの「13管のためのセレナーデ」を堂々と演奏。教室の開始から4年目で、音楽祭のステージで全員が演奏するという大きな目標をついに達成しました。

いっぽう子どもコーラスは、前週に行われた発表会で、美しい日本語の曲から難解な外国語の歌までをお馴染みの振付とともに披露。そこで録音された「相馬市民の歌」は音楽祭冒頭でお披露目され、コンサートの始まりに華を添えてくれました。

そして2021年3月29日(月)に開催された『世界子ども音楽祭2021 in 東京』には、オーケスト

ラ、コーラスから合わせて26名が参加し童声合唱組曲「あめつちのうた」や、ベートーヴェンの交響曲第5番「運命」を東京の仲間と演奏しました。曲目の変更や地震による練習中止などの難局を経て辿り着いた舞台上、ともに奏でる音楽の喜びを全身で感じながら、のびのびと演奏する姿が印象的でした。

練習や演奏会の予期せぬ中止、オンラインレッスンで幕を開けた2020年。だからこそ子どもたちにとっては、久々の練習や限られた演奏機会から「なぜ私は音楽をやるのか」「仲間と一緒に今この瞬間に奏でる音楽の意味とは」など、自身と音楽との関わりを改めて考えさせられた、実りある1年になったようです。



©FESJ2020YasukataEida



©FESJ/2020



©FESJ2020YasukataEida



©FESJ/2020



©FESJ/2020



©FESJ/2020



大槌子どもオーケストラ



大槌子どもオーケストラでは、これまでの経験と出会いを生かし、大槌子どもオーケストラの強みやふるさと大槌の魅力を町内外に発信し、そして、子どもたちの団結力が発揮された1年になりました。

コロナ禍により対面での指導ができなくなったため、今までお世話になった講師の皆さんやフェローさんとの「オンラインレッスン」に挑戦しました。慣れない画面越しのレッスンに戸惑うこともありましたが、画面を通してお互いの元気な姿を見ることができ、また、リアルタイムで繋がる喜びを感じることができました。上級生が下級生に教える姿や、困っている子にはすかさず助けてあげるなど、子どもたちの中にも今までにない「変化」

がみられるようになりました。

毎年12月に行ってきた『大槌子どもオーケストラクリスマスコンサート』も状況をみながら慎重に検討してまいりましたが、関係機関・保護者の皆様のご理解とご協力を得て、無事に開催することができました。感染防止対策として観覧は町民限定でしたがコンサートの様子はオンラインで生配信し、会場に来られない町内外の皆様にもリアルタイムで子どもたちの成果を見ていただきました。前年のコンサートより子どもたち全員で演奏する曲目も増え、大人の教室の皆さんとの共演もあり、そして前年度共演したフェローさんたちと「アイネ・クライネ・ナハ

トムジーク第1楽章」と「ひょっこりひょうたん島」をリモートで共演、楽しく充実したコンサートになりました。

ベートーヴェンの生誕250周年を祝う『GLOBAL ODE TO JOY』と『世界子ども音楽祭2021 in 東京』では、暮らしているふるさとの美しい自然や特産品、古くから伝わる伝統文化などを発信することができました。子どもたちにとっても自分たちが暮らしている大槌の魅力を再確認し地域を振り返って見つめるきっかけとなりました。

コロナ禍で限られた活動の中でしたが、出来ることをひとつひとつ大切に積み重ね、国内各拠点、また世界の仲間たちと繋がることを学ぶことができた1年となりました。



駒ヶ根子どもオーケストラ



2020年、駒ヶ根子どもオーケストラは、指導者も子どもたちも、いろいろなことを学んだ年になりました。

4月に弦楽器指導の横田真規子先生をお迎えしました。同時に緊急事態宣言が発令され、みんなで集うことができなくなるという異例の出来事の中、集団レッスンから、短期間ではありますが、オンラインでの個別指導に切り替わりました。

オンラインでのレッスンは、意思の疎通を図るのはとても大変です。

子どもたち、指導者、それぞれ、努力と工夫をしながら、レッスンを進め、少しずつではありますが、個々の

基礎演奏力を高めることができました。

また、コミュニケーション力が問われるオンラインでのやり取りは、子どもたちにとって、音楽以外のことも学ぶことがたくさんあったようです。

そのような状況の中で、年度終わりに赤穂公民館のホールで、発表会を開催することができました。舞台上のソーシャルディスタンスを保つため、10のグループに分け、同じ曲で人を入れ替えての披露となりましたが、子どもたちの晴れやかな笑顔と立派な演奏に、指導者も保護者も、胸が熱くなる想いがしました。

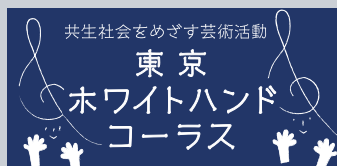
発表会后、保護者の結束も高まり、子どもたちも含め、この状況が収まったらどんな演奏会を企画しようか、みんなで合宿をしたいねなど、夢を語り合うことが増えました。

駒ヶ根子どもオーケストラの未来（これから）に向けて、楽しみな明るい収穫です。



©FESJ2021MarikoTagashira

東京ホワイトハンドコーラス



みえない・みえにくい子どもたちを中心にインクルーシブなコーラスとして活動する声隊は、4月に常任指導者としてソプラノの吉川真澄先生をお迎えしました。5月に初めてオンラインで集まり、試行錯誤の中で練習を始めました。それぞれ家庭で撮った動画を合わせて、皆で声を合わせる合唱動画を作るなど、会えない時間を楽しく過ごせるようにしました。11月になって東京芸術劇場に集まることができた喜びはひとしおでしたが、二度目の緊急事態宣言によりオンライン練習に戻った時も、集まることができる日への希望を持って、それぞれが練習に励みました。

12月には、ベートーヴェン生誕250周年記念委員会

とカーネギーホールが主催した国際的なオンラインイベント『GLOBAL ODE TO JOY』に、第九の〈歓喜に寄せて〉に取り組む動画で参加しました。2021年3月29日(月)の『世界子ども音楽祭2021 in 東京』出演に向けては、友だちと声を合わせられない日々や、練習を重ねてきた第九を断念しなければならない困難にも直面しましたが、新たな曲への挑戦を前向きに捉え、限られた練習のなかで乗り越えていきました。本番のステージでは、マスク越しでものびのびと歌声を披露し、コーラスとしても一歩成長しました。

きこえない・きこえにくい子どもと手話で表現することに関心のある子どもたちとは、これまで手歌を中心として活動してきましたが、2020年度は聾者のアーティストと共に、手話の持つリズムや動きの心地よさから視覚的な音楽を探る“目で生きる人”のオンガクワークショップを行いました。8月より対面で行っていた様々な内容のワークショップは、年明けからオンラインでの活動としました。子どもたちの表現は画面の中からも豊かに広がり、3月には関係者に向けたオンラインの〈小さな発表会〉で、練習を重ねた作品を披露しました。



世界子ども音楽祭2021 in 東京

仲間とともに奏で歌い、困難を乗り越える

2021年3月29日(月)、東京芸術劇場コンサートホールで『世界子ども音楽祭 2021 in 東京：仲間とともに奏で歌い、困難を乗り越える』が開催されました。

音楽祭前半は、相馬子どもコーラスと東京ホワイトハンドコーラスの子どものステージ。上田真樹作曲・林望作詩の童声合唱組曲「あめつちのうた」に加え、相馬子どもオーケストラと有志の音楽家たちの弦楽伴奏に乗せてモーツァルトの不朽の名曲「アヴェ・ヴェルム・コルプス」を歌い、平和への願いが込められたハーモニーが会場いっぱいに響き渡りました。後半は、相馬子どもオーケストラの代表メンバー24名が、日頃から支えてく

れている指導者や音楽家たちと共にベートーヴェンの交響曲第五番「運命」を演奏しました。本番数か月前の曲目変更や、度重なる練習中止に立ち向かった子どもたちの演奏に賭ける気合は凄まじいものがあり、壮絶で重厚な第一楽章の冒頭に始まり、熱量が迸る第四楽章の最後の一音まで、子どもたちの情熱とパワー溢れる熱演となりました。

今回のコンサートでは、本来はこの日同じステージに立つはずだったエル・システマジャパンの各拠点(相馬、大槌、駒ヶ根)の子どもたち、そして世界のエル・システマの仲間たち(ブラジル、スコットランド/英国、韓国、ニュージー

ランド、フランス、米国)が、それぞれ個性と魅力あふれる動画で演奏とメッセージを届けてくれました。また、コンサートの様子はオンラインで生配信され、子どもたちが音楽を奏でる欲びと希望を、日本各地のお客様だけでなく、世界中の仲間と共有することができました。

新型コロナウイルス感染症拡大による1年の公演延期という逆風にも負けず、ようやく開催に至った今回のコンサート。様々な困難を乗り越えて、音楽に情熱を注ぎ、懸命に高みを目指す子どもたちの姿に、温かく盛大な拍手が送られました。



子どもたちの感想文

今回改めて"音楽の力"というものを感じました。どんな困難があっても私たちは音楽で繋がっていく。あの時あの場所で最高の仲間たちと共に演奏ができたことは、まさに「運命」だと思いました。(相馬子どもオーケストラ)

楽しかった!大舞台で歌ったのは初めてだったから、すごい響いていて気持ち良かった。(東京ホワイトハンドコーラス)

オンラインの練習では、みんなで歌っている、という感じがあまりなくて、一緒に歌ってもずれてしまう、画面越しでしか会えずさみしかった。対面での練習は数回しかなかったけど、それぞれオンラインで練習してきたからこそ、みんなで歌えたときが楽しかった。

(東京ホワイトハンドコーラス)

コロナウイルスの影響で、第9の演奏は出来なくて、残念です。運命と演奏することが出来たこと、と思います。困難な状況にも関わらず、音楽祭を開催してくださって、本当にありがとうという気持ちが入ります。これからコロナウイルスが収束したときには、オンラインではなく、直接たくさんの人と会って演奏したいです。

(相馬子どもオーケストラ)

自分は、東京に住んでいる場所の子どもたちと一緒です。でも、世界中の子どもたちと一緒です。運命は、曲がすごく長くて、長い人か、大へんそうでした。たけど、ずっとこれいなきがして、すごいなと思います。いろんな国のいろんな人が、同じようにヴァイオリンを弾いている。事がわがたり、いつか、いかにええぞしてみたいなと思いました。

(駒ヶ根子どもオーケストラ)

バイオリンが一番、いいて楽しかったことは、キラキラ星です。キラキラ星は、色んな楽器が、合奏してとてもキレイでした。

は、演奏会では、みんなも、たけど、みんなと、いいて楽しかった。た、みんなと、キラキラ星を、いいた、です。

子ども音楽祭で、色んな国の、人、が、同じ、ええぞ、を、いいて、楽しかった。音楽は、いいて、楽しかった。

(駒ヶ根子どもオーケストラ)

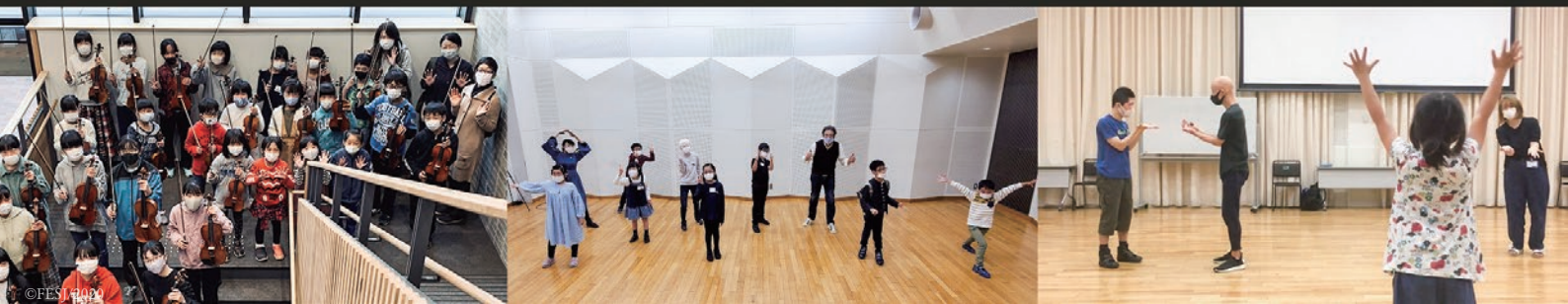
WORLD CHILDREN'S MUSIC FESTIVAL 2021 IN TOKYO
世界子ども音楽祭
2021 in 東京



広報活動



Ode to Joy from El Sistema Japan



Facebook ページをほぼ毎日更新し、活動の様子やコンサートや番組放映のご案内、ご協力のお願ひなどの広報活動を行っています。

エル・システマジャパンは、Facebook ページをほぼ毎日更新し、活動の様子やイベントのご案内、ご協力のお願ひなどの広報活動を行っています。

練習やイベント開催が難しかった2020年度は、オンラインでも練習を頑張る子どもたちの様子など、少しでも不安な日々を楽しく送れるような投稿を目指し、紹介をしてきました。

また、ベートーヴェン生誕250周年記念国際動画プロジェクト『GLOBAL ODE TO JOY』の日本で唯一のオフィシャルパートナーとして、喜びをインスパイアする動画を2作品作成。

相馬、大槌、駒ヶ根、東京の4拠点バージョンは、ドイツの連邦会議議長や、ピアニストのランランさん等、世界中の著名人に混じって世界編集版にご紹介いただき、東京ホワイトハンドコーラスバージョンは『GLOBAL ODE TO JOY』公式ウェブサイトで

も大きく取り扱われました。2020年度も新聞、雑誌、Webなどのメディアに取材や掲載をいただき、件数は、TV3件、ラジオ2件、新聞8件、雑誌1件、広報誌3件、Web12件でした。

相馬子どもコーラスは、昨年初のNHK 連続テレビ小説『エール』で話題になった古関裕而氏作曲の「相馬市民の歌」を12月20日(日)に保護者限定の非公開発表会にて披露、録音。翌週12月27日(日)に行われた「第6回エル・システマ子ども音楽祭 in 相馬」にて録音が披露され、一連の活動を新聞に取り上げていただきました。

2011年3月11日から今年で10年を迎えました。東日本大震災の被災地の子どもたちを支援するために設立され、地方自治体との協力のもと、「音楽を通して生きる力を育む事業」を実施している団体として、愛知から岩手県大槌町に移住し、大槌子どもオーケ

ストラで指導を行ってきたスタッフを2社の新聞で取り上げていただきました。

また、エル・システマジャパンが始まった2012年から、関心を寄せてくださり、様々な形で紹介くださっている、ジャーナリストの池上彰さんと増田ユリヤさんが雑誌「プレジデント」内コラム「池上彰と増田ユリヤのドキドキ大冒険」(2021年4月2日号)にて東日本大震災10周年をテーマに、エル・システマジャパンの取り組みをご紹介してくださいました。

駒ヶ根子どもオーケストラは、3月に発表会を開催。なかなか大きなイベントを開催することが叶わなかった1年ではありましたが、発表会の様子や東京での『世界子ども音楽祭2021 in 東京』にリモートで参加する旨を新聞にて取り上げていただきました。

メディア掲載

掲載日	メディア区分	メディア名	記事名
2020	3/27	T V	「Let's PLAY！～みんなでつくったFoorin楽団～」
	5/26	ウェブサイト	論座 コロナ危機を乗り越えよう。動き始めた芸術文化の分野・役割を超えた連帯
	5/3	TV	NHK 「パブリカ おうちからエール Foorin楽団バージョン」
	5/15	TV/YouTube	NHK パブリカ手話解説版
	6/18	Web	ONTOMO 聾者の音楽をテーマにした映画『LISTEN リッスン』オンライン上映会&トークセッション開催
	10/21	ウェブサイト	Spotlite 視覚障害児の子育て論。母親と父親、それぞれの視点から。
	11/5	プレスリリース(他社)	PR times 音楽教育 × ICT「Primo(プリモ)」リリース記念無料キャンペーンを実施
	12/17	ウェブサイト	リセマム 世界子ども音楽祭3/29、オンラインでも生配信
	12/22	ラジオ	こでらんに5
	12/26	新聞	福島民報 「相馬市民の歌」原譜見つかる 古関裕而さん作曲 児童生徒が音源録音
	12/27	ウェブサイト	相馬市 【2020年12月27日】子どもたちの晴れ舞台 第6回エル・システマ子ども音楽祭
	12/28	新聞	福島民報 相馬で「子ども音楽祭」 東京の団体
12/28	新聞	福島民友新聞みんゆうNet 「楽器水没」乗り越え... 堂々の演奏！ 相馬子どもオーケストラ	
2021	1/1	ウェブサイト	ストブレ！ 第9の演奏も！「世界子ども音楽祭」開催&オンライン配信が決定
	1/8	広報誌	芸術劇場 BUZZ
	1/6	ウェブサイト	The Ensemble News Diversity and Inclusion: A Challenge from Tokyo
	1/15	新聞	朝日新聞福島版 子どもオーケストラ コロナ禍に耐え熱演
	12/13	ウェブサイト	朝日新聞DIGITAL 音楽教育プログラム「エル・システマ」相馬で始まり8年
	1/19	ウェブサイト	毎日新聞 東日本大震災10年 ハマギクの種、宇宙へ 大槌復興に感謝、世界へ発信 / 岩手
	2/5	Web	The Ensemble News Breaking Down Barriers with Technology: Facilitating Multilingual Meetings
	2/5	広報誌	広報 おおつち 今月の大槌人
	2/18	Web	リセマム 「世界子ども音楽祭in 東京」会場&オンライン配信3/29
	3/5	ラジオ	狛江FM
	3/10	新聞	中日新聞 この人
	3/11	新聞	朝日新聞 (東日本大震災10年)何が残り、何を遺すか：4 「当事者」って何だろう
	3/12	雑誌	PRESIDENT (プレジデント) 2021年4月2日号 「池上彰と増田ユリヤのドキドキ大冒険」
	3/25	広報誌	相馬市 生涯学習だより
	3/22	新聞	うたごえ新聞 ピックアップ
3/29	新聞	長野日報 駒ヶ根 小学生ら澄んだ音色披露	



ご協力をお願い

さまざまな形の支援があります。
皆様のご協力をお待ちしております。

ちいさな 音楽家 サポーター (毎月の寄付)

継続的なご支援を!!

子どもたちへの長期的なサポートのために、継続したご寄付は大きな支えになります。クレジットカードまたは口座振替で、月々1,000円からのご寄付を承っています(1,000円単位で任意の金額になります)。安定した運営と活動のために、ご協力をお願いします。

ご支援は以下の口座より承っております

三菱UFJ銀行
玉川支店 普通 0155133 一般社団法人エル・システマジャパン
ゆうちょ銀行 店名 〇一丸(ゼロイチキュウ) 口座記号 00180-7
口座番号 359243 シヤ)エル システマジャパン

・振込手数料はご負担願います。・領収書を希望される方は、お手数ですが、別途、info@elsistemajapan.orgまでお名前、ご住所をお伝えいただけますようお願い申し上げます。
・ゆうちょ銀行口座の場合は、通信欄にお名前、お電話番号、ご住所を記載ください。

今回の寄付 (単発の寄付)

継続や定額でないご寄付も、お預かりしています。「番組を見て応援したくなって」「誕生日の記念に」「お返し代わりに」など、さまざまなタイミングでご寄付をいただいております。クレジットカードやコンビニ、Pay-easyなどオンラインや、銀行口座、郵便口座へのお振込みをお取り扱いしています。

ふるさと納税で の寄付

相馬市ならびに駒ヶ根市へのふるさと納税を通じて、相馬子どもオーケストラ&コーラスまた駒ヶ根子どもオーケストラの活動を支援できます。ふるさと納税では、住民税と所得税の控除を受けられるほか、相続財産の場合は相続税が非課税になります。

企業版 ふるさと納税で の寄付

地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)を通じて、相馬子どもオーケストラ&コーラスの活動をご支援いただけます(相馬市以外に本社や重たる事業所がある場合に限る)。税額控除の税額控除の優遇措置により、現行の地方公共団体に対する法人の寄付に係る損金算入措置(約3割)と合わせて、寄付額の約9割に相当する額が軽減されます。

詳細や詳しい手順は、ホームページでご紹介しています。

エルシステマジャパン ふるさと納税



楽器の寄贈

エル・システマジャパンでは、オーケストラに参加する子どもたちに無償で楽器を貸与しています。「以前は使っていたけれど今は弾いていない」という楽器がございましたら、どうぞご寄贈ください。メンテナンスをして使わせていただきます。

物品や ポイントによる 協力

読まなくなった書籍やDVDをご寄贈いただき、買い取ってもらうチャリボンや、Tポイントによるご寄付も受付けています。

ボランティア

弦楽器指導ボランティア(フェロー)、本部サポートボランティア(事務)や広報PRサポートインターンを募集しています。

コンサートに いく

各地で開かれる子ども音楽祭やコンサートに、ぜひお越しを!子どもたちの演奏や合唱をどうぞ鑑賞ください。コンサートの情報は、ホームページとFacebookでご案内しています。

子どもたちが音楽を通して生きる力を育めるように
ホームページで詳しく紹介しています。

www.elsistemajapan.org



会計のご報告

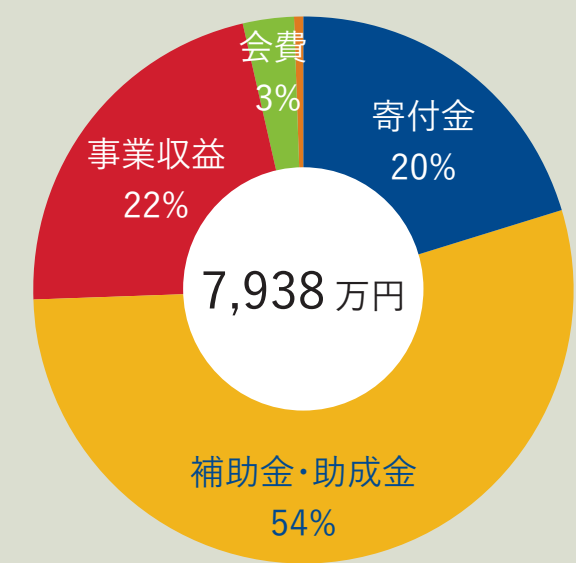
2020年度も、多くのご支援・ご協力をお寄せいただきエルシステマジャパンは、音楽を通して生きる力を育む事業を行いました。

今年度の活動のための収入は7,938万円でした。これは世界子ども音楽祭2021 in 東京や相馬楽器応援のために2020年度にお預かりしたご寄付を含みます。

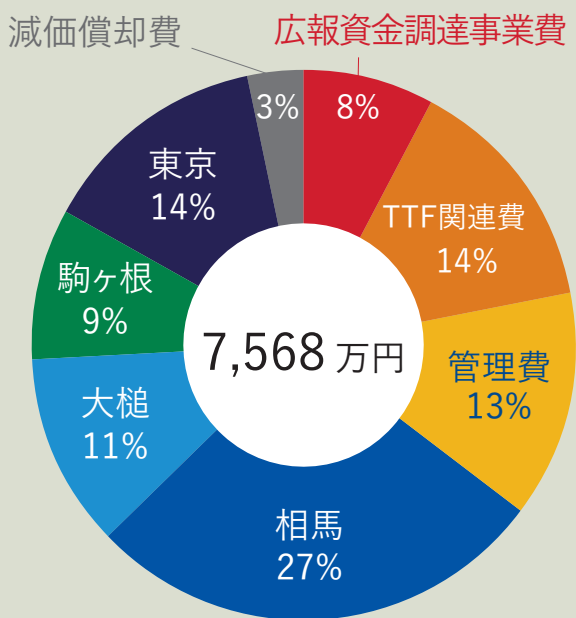
支出は、現地事業費と世界子ども音楽祭に関わる事業費が8割を占めています。今年度現地事業費として計上しているものの一部は、世界子ども音楽祭のために各地で支出されたものも含んでいます。地域に根差し、地域に開かれた活動を行っています。今後も現地事業費により多くの財源を充当できるよう心がけてまいります。現地事業費の減価償却は、エル・システマジャパン所有の楽器と、自主練習用に開発したソフトウェア分です。

皆様からのご支援に支えられながら、安定した運営を行っていくために、資金調達活動にも今後も力を入れて取り組んでまいります。

収入の内訳



支出の内訳



2020年度 貸借対照表

2021年3月31日現在[税込](単位:円)

科目	金額
資産の部	
流動資産	
現金・預金	
現 金	28,209
ゆうちょ 当座	2,813,050
ゆうちょ 普通	1,403,675
三菱東京 UFJ 普通預金	715,143
現金・預金 計	4,960,077
売上債権	
未 収 金	14,638,262
売上債権 計	14,638,262
その他流動資産	
前払 費用	385,000
仮 払 金	
その他流動資産 計	385,000
流動資産合計	19,983,339
固定資産	
有形固定資産	
楽器 類	6,366,200
減価償却累計額	△ 6,146,119
有形固定資産 計	220,081
無形固定資産	
ソフトウェア	4,320,000
無形固定資産 計	4,320,000
投資その他の資産	
敷 金	1,024,800
投資その他の資産 計	1,024,800
固定資産合計	5,564,881
資産の部 合計	25,548,220

負債・正味財産の部

流動負債	
未 払 金	18,252,586
預 り 金	418,212
未払消費税	425,900
流動負債 計	19,096,698
負債合計	19,096,698

正味財産の部

正味財産	
前期繰越一般正味財産	△ 1,580,903
前期繰越指定正味財産	8,407,146
前期繰越正味財産額 計	6,826,243
当期一般正味財産増減額	3,696,914
当期指定正味財産増減額	△ 4,071,635
当期正味財産増減額 計	△ 374,721
一般正味財産	2,116,011
指定正味財産	4,335,511
正味財産 計	6,451,522
正味財産合計	6,451,522

負債・正味財産の部 合計	25,548,220
--------------------------------	-----------------------------

2020年度 正味財産増減計算書

2020年4月1日～2021年3月31日(単位:円)

科目	事業会計	法人会計	合計
----	------	------	----

I. 一般正味財産増減の部

1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	16,080	7,920	24,000
賛助会員受取会費	1,545,600	750,000	2,295,600
受取助成金等			
受取公的助成金	10,000,000	3,759,996	13,759,996
受取公的補助金振替額	28,334,000	0	28,334,000
受取民間助成金振替額	830,200	223,100	1,053,300
受取寄付金			
受取寄付金(個人)	1,156,954	578,477	1,735,431
受取寄付金(企業・団体等)	2,216,207	1,108,103	3,324,310
受取指定寄付金振替額	10,711,303	340,000	11,051,303
事業収益			
受託事業収益	15,021,326	1,412,892	16,434,218
その他事業収益	0	1,030,139	1,030,139
雑収益			
雑収入	0	336,000	336,000
受取利息	0	16	16
経常収益計	69,831,670	9,546,643	79,378,313

(2)経常費用			
事業費			
現地事業費(相馬)計	20,775,616	0	20,775,616
現地事業費(大槌)計	8,699,563	0	8,699,563
現地事業費(駒ヶ根)計	6,670,155	0	6,670,155
現地事業費(東京)計	10,225,441	0	10,225,441
減価償却費	2,509,240	0	2,509,240
現地事業費計	48,880,015	0	48,880,015
広報資金調達事業費 計	5,902,827	0	5,902,827
TTF 事業費 計	10,734,715	0	10,734,715
事業費計	65,517,557	0	65,517,557
管理費計	0	10,163,842	10,163,842
経常費用計	65,517,557	10,163,842	75,681,399
当期経常増減額	4,314,113	-617,199	3,696,914

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
法人税	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	4,314,113	-617,199	3,696,914
一般正味財産期首残高	1,426,890	-3,007,793	-1,580,903
一般正味財産期末残高	5,741,003	-3,624,992	2,116,011

II. 指定正味財産増減の部

受取寄付、補助金等			
受取公的補助金	28,334,000	0	28,334,000
受取民間助成金	3,525,000	500,000	4,025,000
受取寄付金	3,654,643	353,325	4,007,968
一般正味財産への振替額			
公的補助金の振替額	28,334,000	0	28,334,000
民間助成金の振替額	830,200	223,100	1,053,300
寄付金の振替額	10,711,303	340,000	11,051,303
当期指定正味財産増減額	-4,361,860	290,225	-4,071,635
指定正味財産期首残高	8,094,242	312,904	8,407,146
指定正味財産期末残高	3,732,382	603,129	4,335,511

III. 正味財産期末残高	9,473,385	-3,021,863	6,451,522
--------------------------------	----------------------------	-----------------------------	----------------------------

※ 財務諸表の全文は、エル・システマジャパンのホームページ(<http://www.elsistemajapan.org>)でご覧いただけます。

公益法人会計基準に則る監査: 矢崎 芽生(公認会計士・税理士)

ご協力、ご支援いただいた皆様

ご協力いただいた アーティストの皆様

Anita Lee(バイオリン)
飯尾久香(チェロ)
石井忠彦(チェロ)
伊藤萌(トランペット)
猪又麻衣子(チェロ)
上杉理香(バイオリン)
上田真樹(作編曲)
内田和紀(ビオラ)
海野隆次(ファゴット)
浦田拳一(ファゴット)
浦脇健太(オーボエ)
大久保尚(コントラバス)
大庫るい(ビオラ)
大澤愛衣子(バイオリン)
岡崎明義(フルート)
岡田大和(トロンボーン)
神子島あかり(ファゴット)
北湯口佳織(クラリネット)
木許裕介(指揮)
日下部杏奈(チェロ)

呉惇慎(コントラバス)
古田川達男(バイオリン)
佐藤遥香(チェロ)
鈴木彩(ホルン)
須藤亜佐子(バイオリン)
清野ゆりか(バイオリン)
関谷美紀子(ホルン)
千石進(クラリネット)
臺隆裕(トランペット)
零境(舞踏)
高山泰利(パーカッション)
坪谷陸(ファゴット)
東條茂子(フルート)
十亀有子(フルート)
戸田薫(バイオリン)
中溝俊哉(オーボエ)
名和俊(コントラバス)
野間春美(ピアノ)
橋本顕一(ビオラ)
長谷川さくら(クラリネット)

福田紗瑛(ビオラ)
藤井星亜(トロンボーン)
古野淳(ホルン)
古橋富士雄(合唱指導)
本田梨紗(ビオラ)
牧原依里(映画作家)
宮川由衣(チェロ)
三宅梨絵(ビオラ)
室井絵里(バイオリン)
持田富士美(ファゴット)
門間大樹(パーカッション)
山本靖之(トロンボーン)
山本大(ホルン)
山本睦(オーボエ)
横田帆南(クラリネット)
横田真規子(バイオリン)
横山希(ピアノ)
吉川真澄(ソプラノ)
ラッキィ池田&彩木エリ(振付)
<敬称略、五十音順>

楽器を寄贈して くださった皆様

木村昌男・綾子
近藤純子
高橋葉子
土屋志保
鶴祐子
西野信
師岡美奈
吉田喜洋・育子
<敬称略、五十音順>

ご支援いただいた皆様

株式会社社会津ゼネラルホールディングス
青柳千尋
池上彰
岩崎慎一郎
Water Dragon Foundation
大谷雅子
大植町
大堀相馬松永窯
オリエンタルモーター株式会社
外務省
川原直
キッコーマン株式会社
経済産業省
gooddo 株式会社
Global Giving
株式会社コト
駒ヶ根市
在日ニュージーランド大使館
在日米国大使館
在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本
公益社団法人才能教育研究会
佐伯栄一
作田佳奈美
佐藤香徳里
株式会社ジェイアール東日本企画

ジオアステクノ株式会社
芝崎智子
真如苑
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(新型コロナウィ
ルス対応緊急支援助成)
相馬市
株式会社ソノリテ
田頭真理子
棚澤啓介
中小企業庁
駐日英国大使館/ブリティッシュ・カウンシル
駐日韓国大使館 韓国文化院
駐日ブラジル大使館
長楽館
一般社団法人東京倶楽部
東京都
公益財団法人東京都しごと財団
東京南ロータリークラブ
公益財団法人東京都歴史文化財団(アーツカウンシル東京)
公益財団法人東京都歴史文化財団(東京芸術劇場)
社会福祉法人トット基金
仁藤里香
独立行政法人日本芸術文化振興協会
日本・ラテンアメリカ婦人協会
日本ろう者劇団

パッハ平均律を弾く会
株式会社バリューブックス
廣野孝男
フェローオーケストラ
福羽泰紀
舟越一郎(funaco design studio)
文化庁
文化庁文化芸術振興費補助金(国際芸術交流支援事業)
松古樹美
増田ユリヤ
株式会社ミオアンドカンパニー
三尾徹
ミネ・シュティムメ
村田大介
最上沙紀子
本江博子
守口毅
文部科学省
モーションギャラリー
柳澤祐子
ヤフー株式会社
吉江一男(故人)
<敬称略、五十音順>
2020年4月1日～2021年3月31日の間に原則5万円以上のご寄
付、及びボランティアで各種技術協力をくださった個人、企業、
法人のお名前を、ご本人の了承を得た上で掲載しております。

皆様のご支援、ご協力に心より感謝申し上げます



©FESJ2021Mariko Tagashira



©FESJ/2020



©FESJ2020Takaki Dai